

平成28年12月

大野市教育委員会臨時会

会議録

日 時：平成28年12月15日（木）午後2時00分～3時10分

場 所：大野市役所 大会議室

大野市教育委員会 12月臨時会

平成28年12月15日(木)

午後2時～大会議室

1. 開 会

会議録署名人 清水委員 山川委員

2. 議 事

議案第29号 公文書公開請求の異議申立てについて (継続)

議案第30号 公文書公開請求の異議申立てについて (継続)

3. 付議事項

1) 大野市小中学校再編計画(案)に関するアンケート結果報告並びに
その内容に対する回答について

2) 大野市小中学校再編計画(案)住民説明会の意見について

3) その他

4. 閉 会

<出席者>

	委員長	洞 口 幸 夫
	職務代理者	清 水 美 那 子
	委 員	山 川 秀
	委 員	松 田 公 二
事務局（説明者）	教育長（再掲）	松 田 公 二
	事務局長	小川 市右ヱ門
	教育総務課長	木戸口 正 和
	学校教育審議監	道 鎮 栄 一
	生涯学習課長	中 村 吉 孝
	〃 文化財保護室長	中 村 りえ子
	〃 スポーツ振興室長	砂 子 淳 一
（書 記）	教育総務課課長補佐	山 田 靖 子

<傍聴者>

9名

【大野市教育理念の唱和】

【開会・点呼】

【委員長】 それでは、定刻になりましたので、ただ今から、12月臨時教育委員会を始めさせていただきます。

傍聴者は9名ということで、許可いたします。

周りの山々が白っぽくなり、寒さも一段と厳しくなってきました。皆さん方にはお元気でご出席いただき、誠にご苦労様です。

このたびの大野市小中学校再編計画案の住民説明会に当たりましては、教育長さんをはじめ事務局の皆さん方には、一枚岩となって、教育委員会が作成した学校再編計画案の説明に誠にご多忙の中27回にわたって、夜間といわず休日を返上してまでお取り組みいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

また、会場ごとに市民の方々のご発言を漏れなく記した復命書をも早々と作成され、私どもにお届けくださいましたご苦労に対しても、重ねて敬意を表したいと思います。本当にご苦労様でした。

さて、本日は11月定例会で継続審議となりました2議案、そして付議事項2件を主な内容としながらレジュメに沿って議事を進めてまいりたいと思います。

なお、本日の会議の終了予定ですが、松田教育長さんが4時から予定が入っているということで、3時30分頃を目途に終わりたいと思います。ご協力のほどよろしくお願い致します。

【局長】 本日、關委員さんが欠席される旨、ご連絡がありましたので、報告いたします。

【会議録署名人】

【委員長】 本日の会議録署名人は、清水委員さん、山川委員さんのお二人にお願いすることにします。

【委員長及び教育長の重要事項報告】

【委員長】 続きまして、レジュメにはありませんが、教育長さんから重要事項報告があれば、お願いします。

【教育長】私から、昨日行われました大野市議会定例会での教育委員会所管のうち、議長あてに提出されました小中学校再編計画（案）に対する陳情書について、ご報告させていただきます。資料をご覧ください。

和泉地区区長会長 新井基衛さんほか2名から提出されました陳情は、継続審査となりました。和泉小中学校保護者一同の代表 小林博之さんほか1名より提出されました陳情も、継続審査となりました。阪谷地区区長会会長 黒田宗雲さんより提出されました陳情につきましては採択となりました。奥越地区家族会会長 森廣茂治さんより提出のありました陳情につきましては、不採択となりました。以上の通りでございます。これらは、再編計画策定の判断資料としていただきたいと思います。

なお、12月市議会定例会のその他の具体的な内容につきましては、次回の定例教育委員会で報告させていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【委員長】有難うございました。ただ今の件につきまして、何か質問はありませんか。

【議 事】

【委員長】では、4番目、議事に入ります。

議案第29号 公文書公開請求の異議申立てについて、11月の継続審議となっておりますので、続いて審議してまいりたいと思っております。

11月の定例教育委員会で事務局に依頼しました学校教育審議会の委員の方々の情報公開請求についてのご意見を報告して下さい。お願いします。

【教育総務課長】この議案は、市民の方から公文書請求の申立てがありまして、それにつきまして、前回の教育委員会で学校教育審議会の委員の方々のご意見を聞いてから判断したいとなっておりますので、その結果について報告させていただきます。学校教育審議会としましては、情報を公開しないでほしいとのお話でございました。以上でございます。

【委員長】ただ今、ご報告いただきましたように学校教育審議会の委員の方々の意見は、公開しないでほしいということでした。このことにつきまして、皆さん方、ご意見がありましたらお願いします。

【山川委員】学校教育審議会委員の方々が公開しないでほしいというご意見なら、教育委員会としても非公開とすべきでないかと、私は思います。

【委員長】山川委員さんは、学校教育審議会委員の方々が公開しないでほしいとおっしゃるのならその通りとすべきというご意見ですが、皆さんはいかがですか。

【教育長】私も、この会議は非公開を前提として進められてきておりますので、この趣旨にのっとり、山川委員の言われたように非公開に賛成します。

【委員長】本日出席の委員は全て、学校教育審議会委員さんのご意見を尊重するというこ

となので、公開しないとすることでよろしいですね。

では、議案第29号 公文書公開請求の異議申立てについては、公開しないことで議決としてよろしいですか。

——<異議なし>——

議案第29号 公文書公開請求の異議申立てについては、公開しないこととします。

【委員長】次、議案第30号 公文書公開請求の異議申立てについて、これも継続審議でございますが、全く議案第29号と同様でございますので、議案第29号に倣って同様とさせていただきますよろしいですか。

【山川委員】私は、議案第30号も非公開とすべきであると思います。

【委員長】議案第30号につきましても、議案第29号に倣って同様に公開しないということで議決としてよろしいですか。

——<異議なし>——

では、議案第30号 公文書公開請求の異議申立てについても、公開しないこととします。

以上、本日の議案につきましては、2議案ございましたが、これで議事は終了します。

【付議事項】

【委員長】続きまして、3番目の付議事項に入ります。

まず、一番目の大野市小中学校再編計画（案）に関するアンケート結果報告並びにその内容に対する回答についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

【教育総務課長】お手元の資料1をご覧ください。11月29日に、大野市PTA連合会会長 山本耕平さんから、「大野市小中学校再編計画（案）に関するアンケート結果報告及びその内容に対する返答依頼について」の文書が提出されました。

その内容ですが、説明会終了後に実施したアンケートでは、賛成は1割以下、反対は5割前後と説明会前より反対意見が多くなっている。

そして、PTA連合会では次の3点を問題と捉えております。

- 1 小中学校のPTA会員の約半数が、計画案に関し反対である点。
- 2 素案から計画案の内容に変更となった経緯が不明瞭な点。
- 3 これからの子ども達にとってより良い学校環境が、こういった形なのか大野市民が納得する形での説明がなされていない点としております。

その上で、大野市PTA連合会として、会員の多くの理解が得られていない状況で、教育委員会は、平成29年1月に小中学校再編計画策定を予定しているが、予定どおり進めるのかについて、12月12日までに文書での回答を求めています。

これに対しまして、事務局では、12月12日付け文書でPTA連合会に12月15

日に開催する臨時教育委員会で協議し、お答えしますと回答させていただいております。ご協議をよろしく申し上げます。

【委員長】ただ今、大野市小中学校再編計画（案）に関するアンケート結果報告並びにその内容に対する回答について、回答期限が12日となっていたのを15日にさせていただくと申し上げたということです。皆さん方のほうで、もし質問、ご意見がありましたら、お願いします。

【山川委員】11月21日の福井新聞に、市長への陳情書と3000人の署名が提出されており、その回答期限が20日であると書かれていましたが、その回答を待つて判断されてはどうかと思います。

【委員長】山川委員さんのご意見は、市長あてに提出された署名と陳情書がありますが、その陳情書の回答を待つて判断してはどうかということですが、皆さんいかがでしょうか。

【清水委員】教育委員会の置かれている立場は非常に重いものがあると思います。重要なことなので、慎重の上に慎重に審議をしていかないといけないと思います。今、市民の間に教育委員会に対して不信感をもっている方もおられますので、私も、山川委員さん同様、市長の回答を待つて回答した方が良いと思います。

【委員長】今後、計画の策定を予定通り進めるのかどうかを問われています。それに対する返答を迫られております。やはり、これは重要な案件ですので、したがって市長部局の判断を待つて、その結果を聞いて、そして教育委員会の判断をしていくということでもとめたいと思います。よろしいですか。

【教育長】少し、話は逸れるかもしれませんが、PTAの皆さん方がこういったアンケートをしていただいた、このことは学校再編の関心を市民の皆さんに持っていただく上で非常にありがたかったと思っています。このことは本会議の場でもお礼を申し上げます。ですが、このアンケート、一つの情報でどうこうというのではなく、今ほど言われたように3000人の署名であったり、このアンケートであったり、或いは説明会の席上でいろいろ言われたりしたいろんなことを総合的に判断して、PTAの皆さん方の質問にお答えしていくという意味では20日を待つて、協議させていただいて、返答させていただくというのは、事務局としてもありがたいと思います。

【委員長】教育長も慎重に進めていこうということなので、この件に関しましては、市長部局の判断を聞いて協議し、回答させていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

続きまして、次に、2番目の大野市小中学校再編計画（案）住民説明会の意見について、議題とします。この件に関しましては、事前に、事務局で丁寧にまとめられて配布していただいております。こんなにたくさん、作成には本当に時間が掛かっていると思います。事務局のみなさん方のご苦勞に感謝しますとともに、読むのにも相当

の時間がかかると思います。私も2回読ませていただきました。

事務局の説明があればしていただいてもいいのですが、なければ、皆さんからのご意見をお聞きしたいと思います。

【局長】説明会ですが、住民説明会を10回、その後に学校PTAの皆さんに5回、また、幼稚園、保育園の保護者の皆さんへの説明会も5回、合計20回の説明会を開催しました。市職員対象の説明会等7回も含めて27回ですので、よろしくお願いします。

【委員長】私が資料からまとめたところによりますと、説明会の参加者数が1694名と非常にたくさんの方がおいでいただいております。その中で貴重なご意見がたくさんございました。皆さん方、これに対するご意見等ございましたら、お願いしたいと思います。

【清水委員】私も読ませていただきましたけれども、伝えたいことと聞いていることの食い違いというか、しっくり伝わっていない部分があるのではないかと思いましたが、どうでしょう。

【委員長】市職員対象の説明会も合わせると27回ですけれども、私自身も、そのうち五つの会場へ実際に出向いて、お聞きしました。確かに清水委員さんが言われるように浸透不足と感じました。トータルでは1694人という数ですが、もっともっとたくさん来ても良いのではないかと、そういうような会場もいくつかありました。回数が多く開かれておりますので、例えば、西校校区であっても他の地区で参加されれば、再度来ることはないと思うのですが、そういったことを考えると少ないのは当然と思いつつ、全体的には、会場ごとの人数、トータルでみても少ないなと感じました。そして、小さい子どもをお持ちの保護者を対象にした説明会を有終会館で金、土、日曜日の3日間、土、日を返上して開催しましたが、やっぱり人数的に少ない気がしました。そういうことも含めて、説明が十分行き届いていない、宣伝が不足しているという懸念はしないでもありませんが、事務局、その辺はいかがですか。

【局長】それぞれ会場で説明させていただいたのですが、まず、説明会の開催については、広報おおの、市ホームページ、報道機関などしっかり発信したのではないかと考えています。また、将来再編に関わる子どもを持った保護者の方々には、保育園、幼稚園、子育て支援センターなどを通じて周知させていただきました。

【教育長】補足させていただきますが、3年半前から児童生徒数の推移の現状と適正規模について30回の説明会を開催させていただいて、学校教育審議会に諮問して、中間報告を頂いた上で素案を作成し、その説明会を40回させていただいて、また、それを受けて計画案の作成、そして説明会を市職員分を含めて27回と段階を踏んで、極めて丁寧に説明させていただいたものと思っております。

【委員長】事務局長の説明会の情報については十分流しているという言葉、また、教育

長さんのおっしゃる3年半かけて段階的に計画を進めてきているので十分行き届いているはずだと思っているということは、私も理解できます。

【山川委員】私も全部読みました。反対の意見が多く、賛成の意見は少なかったように感じましたが、児童生徒のことを第一に考えて作られた計画でありますので、計画が成立したとしても、7年先、10年先に実際に動き出すということを考えますと、この計画通り進めて欲しい、それが無難だと私は考えます。

【委員長】私も2回読ませていただきました。大学ノートに要点を書きとめていったところ、15ページ要しました。だから、各会場で相当意見が多かったということは間違いない。その意見は、反対意見も賛成意見もありました。或いは、どちらとも判定しがたい意見もあります。そういった中で、私なりに参加者が不安に思っていることをまとめてみましたので読み上げます。10項目あります。まとめ方が変なところもあるかもしれませんがそれはお許しいただきたいと思えます

①地域のよりどころとなる学校がなくなる、そして過疎化が進んでいくのではないか。

②大規模化することで、いじめ、登校拒否などが多発しないか。

③学校が少なくなることで、育てた子どもが教員となって帰ってきてても職場がない。

④スクールバス通学は負担が大きいのではないか。

⑤地域文化の継承（ふるさと教育）はどうなるのか。

⑥母校がなくなる。大野に帰ろうという意識が薄くなるのではないか。

⑦地域の避難所としての学校はどうなるのか。

⑧校区が広がると、友だち関係など私生活の面でいろんな心配がでてくる。

⑨保育園との連携はどうなっていくのか。

⑩自転車通学が遠くなると交通事故の心配が増えてくる。

抜けているところが有るかもしれません。

最後に私の読ませていただいた感想ですが、事務局の説明は、一貫してこの計画案は児童生徒のよりよい教育環境を目指した再編計画であるということを実際に、しかも丁寧な説明に終始していたように思います。反対意見も多い、賛成意見もある、時には失礼な言葉も飛び出す中ですね、冷静な応答に努められたと、私は思っております。

最後に、たくさんの復命書の意見の中で、特に目に留まった発言を紹介します。

「学校再編はむしろ、遅かったかなという感じがしている。大野の教育が良くなればなるほど、子ども達は大野に残らなくなる。外で大活躍をします。そう考えると、充実した教育をやるべきか、やらずに大野に残した方が良いのか。自分でも分からなくなった」という発言です。人口が減少していく、少子化が進む中で、子ども達がいきいきと活躍している姿を見るのは社会の多くの人たち。もちろん親、教員にとって、嬉しいことです。そういった幸せがあるのではないか。そういうことではないだろうかと心に残りましたので、紹介させていただきました。

今日ご発言いただけなかった事については、まだ機会もありますので、説明会の意見について今日はこれで終わりたいと思います。事務局よろしいですか。

【教育総務課長】 説明会の復命書のうち後半の2、3回分をまだ送付していないので、後日送付させていただきます。

また、パブリックコメントの意見の概要については前回配布させていただきましたが、次の定例会くらいまでには、項目ごとに整理して、事務局の考え方も追加して皆様に提示させていただきますので、よろしくお願いします。

【委員長】 パブリックコメントにつきましては、以上の説明の通りです。

次に、3番目のその他に入ります。事務局、何かありますか。

【学校教育審議監】 お知らせになりますが、来る24日、25日の両日に亘りまして奥越地区の小中学生のアンサンブルコンテストが開催されます。奥越吹奏楽連盟からお手元にご案内が届いていると思いますが、お時間を取っていただけるとありがたいと思います。

【教育総務課長】 資料の一番最後になりますが、福祉こども課より、民生委員の推薦会委員の推薦という依頼文書を配布してございます。委員の推薦を求められているわけですが、委員の任期は平成31年11月30日までの3年間でございます。現在の推薦会のメンバーは、教育委員のほかに区長会、地区社協、民生環境部長、校長会代表などとなっています。

これまでは、教育委員の前任者は妙願委員にお願いしておりました。今回、教育委員会より1名推薦いただきたいということですので、よろしくお願いします。

民生委員は100人ほどおられます。任期が3年になっているため、3年に一度大規模な推薦会がありますが、任期途中で辞められた場合も、その都度推薦会が開催され、それは年に2、3回あるかないかということだそうです。

本日、教育委員さんの中からお一人推薦いただきたいと思います。

【委員長】 12月20日までに推薦しないといけないのですね。ですから、今日決めないといけないということですね。

【清水委員】 妙願委員さんの前は、私が委員を務めていました。本日欠席されていますが、關委員さんは民生委員をなさっておられるようなので、私がやらせていただきます。

【委員長】 では、この件は、清水委員さんに推薦会委員になっていただくということで推薦したいと思います。よろしくお願いします。

【生涯学習課長】 事務連絡ですが、第9回越前おおの感性はがき展の作品集が完成しました。5060点の応募がありまして、まちなかに高札で560点の作品を展示したところです。本日、その冊子が出来上がりましたので、委員各位に配布させていただきます。力作ばかりですので、是非ご覧いただきますようお願いいたします。

この冊子につきましては、来週からめいりん、図書館、イトヨの里で500円で販売します。また、本日付で報道発表も行いました。今回の感性はがき展の応募は、全県制覇しており、その上海外からも7ヶ国64件の作品を頂いています。

来年は募集の年となりますので、第10回目ということで力を入れてやっていきたいと思っています。

【委員長】500円と言われたが、実際、経費はもっと掛かっているんでしょうね。

事務局、他にありますか。

【教育総務課】次回の会議ですが、22日（木）午後3時から、この場所で12月定例会を開催しますので、よろしくお願いします。

【委員長】よろしいですか。

事務局からのその他は全て終わりましたが、委員の皆さんから何かありませんか。

では、以上で12月臨時教育委員会を終了します。どうも有難うございました。

午後3時10分終了

平成29年1月19日

(清水委員)

(山川委員)